

ヤシャイノデ保護回復事業計画の評価検証結果について（概要）

1 ヤシャイノデ保護回復事業計画

- ・常緑性のシダ植物で、県内では南部に限られた地域にのみ生育する。特別指定希少野生動植物。
- ・計画策定年度：平成 18（2006）年度
- ・

2 計画の目標・取組事項



(1) 計画の目標

- ・最大の絶滅危惧要因であるニホンジカの食害防止と保護増殖対策の実施
- ・個体群の維持・拡大

(2) 取組事項

- ①ニホンジカの食害防止柵の設置と生育環境の保全、②孢子による人工増殖手法の検討、③定期的なモニタリングと関係情報の収集、④地域の保護活動に必要な体制づくりと普及啓発活動

3 計画策定以降の対象種の動向

指 標	計画策定時	評 価 時	動 向
個体数	H18 年（2006 年） 約 530 個体	H25 年（2013 年） 約 410 個体（推定）	 やや悪化
生育地数	H18 年（2006 年） 1 地域	H25 年（2013 年） 1 地域	 横ばい
補足事項	・個体数・生育地数は、計画策定時に確認されていた生育地の個体数で比較し、動向を判断した。 ・突発的な河床の上昇、ニホンジカの食害、盗掘により個体数の動向は減少傾向にあると判断された。また、生育個体のうち、シカの食害を受けた個体、もしくは未成熟個体が多数を占めていた。 ・生育地は維持されたため、生育地数は横ばいとした。ただし、計画策定後、新たな自生地も確認された。		

4 成果

- 保全活動に取り組む認定団体が設立され、ニホンジカの食害防止対策が実施された。
- 新たな自生地の発見など関係情報の収集がすすめられた。
- 認定団体により孢子による人工増殖手法が確立された。

5 専門委員会による保護回復事業計画の継続に関する判定と意見（評価検証結果）

(1) 計画継続に関する判定：計画継続（部分的な修正を含む）

(2) 付帯意見（概要）：

- ア 実施した対策については必要に応じて改善を図るとともに、モニタリングにより改善効果を把握すること
- イ 現地の生育個体の繁殖能力については成熟個体による評価が必要。